

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014001	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3G1) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	3G1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受付		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業を通して、英語を発信型言語のツールとして活用していく本格的訓練の場とする。		
授業到達目標/Goal	学生が中長期の留学をすることを念頭に置き、TOEFL iBT/IEALTS形式の問題演習を行うと同時に、アカデミック・プレゼンテーションの訓練を行う。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業では、前半をTOEFL iBT/IEALTSのテストゼミを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、学生の専門分野に応じたプレゼンを最終的にを行うことを前提に、着想の段階から一定程度のまとまった内容ができあがるまでのプロセスを指導する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	academic presentation, summary writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業時の課題(20%), TOEFL/IEALTS形式のテストゼミ(40%), プレゼンテーション(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, Sample Listening Test		
第2回	Listening 1, テキストUnit 3 (Fill-in-the-blanks summary)		
第3回	Listening 2, テキストUnit 5 (Questions&Answers in Japanese)		
第4回	Listening 3, テキストUnit 8(Fill-in-the-blanks summary)		
第5回	Listening 4, テキストUnit 11(Fill-in-the-blanks summary)		
第6回	Listening 5, テキストUnit 15(Fill-in-the-blanks summary)		
第7回	3Step小テスト(1)(約30分程度) DVD教材(1), Dictation		
第8回	DVD教材(2), Dictation		
第9回	Listening 6, Email writing (1)		
第10回	Listening 7,		
第11回	Listening 8, Email writing (2)		
第12回	3Step小テスト(2), Email writing (3)		

第13回	Listening 9, Email writing (4)
第14回	Listening 10, まとめ(1)
第15回	まとめ(2)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014002	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3G2) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[ 多文化 ] 2号館 1 2 F 1 2 講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	3G2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	B棟1F		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 3 限目		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語の論文やニュースを通して、批判的思考 (クリティカル・シンキング) の基礎力を養う訓練を行う。		
授業到達目標 / Goal	英語で書かれた論文や新聞記事を正確に読み取る力を身につける。 批判的思考とは何かを理解する。 批判的思考を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	グループワークを通して、学生が自ら考え、学ぶことを目的とした活動を取り入れる。 授業内では、英語の新聞記事や論文を扱うことから授業前の課題あり。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業に必要なプリントなどは随時、授業中に配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業中の小テスト : 20% 課題の提出 : 20% 授業中の取組 : 30% 期末試験 : 30%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	再履修生の受け入れ不可。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	批判的思考を養うことは、卒論の作成時にも役に立つスキルです。がんばりましょう！		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 学習方法の説明 シラバスの説明 アンケートの実施		
第2回	Critical Thinking(1) Critical Thinkingとは何かを考える。		
第3回	Critical Thinking(2) Critical Thinkingとは何かを考える。 グループでの発表		
第4回	Critical Thinking(3) Critical Thinkingについて学ぶ。		
第5回	Critical Thinking(4) Critical Thinkingについて学ぶ。 文学作品から学ぶ。		

第6回	Critical Thinking(5) Critical Thinkingについて学ぶ。 文学作品から学ぶ。 グループでの発表。
第7回	Critical Thinking(6) Critical Thinkingの力を身につける。 新聞記事から学ぶ。
第8回	Critical Thinking(7) Critical Thinkingの力を身につける。 新聞記事から学ぶ。
第9回	Critical Thinking(8) Critical Thinkingの力を身につける。 新聞記事から学ぶ。 グループ発表
第10回	Critical Thinking(9) Critical Thinkingの力を身につける。 英語の論文から学ぶ。
第11回	Critical Thinking(10) Critical Thinkingの力を身につける。 英語の論文から学ぶ。
第12回	Critical Thinking(11) Critical Thinkingの力を身につける。 英語の論文から学ぶ。
第13回	Critical Thinking(12) Critical Thinkingの力を身につける。 英語の論文から学ぶ。
第14回	Critical Thinking(13) Critical Thinkingの力を身につける。 英語の論文から学ぶ。 グループでの発表。
第15回	総復習とまとめ
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014003	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3G3) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(3G3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水5 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、いろいろな会話場面で十分コミュニケーション活動が行えるようにします。また、日本文化に関して、英語で説明できるような簡単なプレゼンの練習も行い、自信を持って英語を発信できるようにします。また、TOEFL等の問題を利用して、速読の練習を行い、英文をはやく正確に読む練習も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルではなく、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースやダイアログなら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンを、自信もって英語でできるようにします。速読は、要点を把握する練習をしながら、TOEFL等の問題を時間内にとけるようにします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、リスニングを十分してから、授業に臨んでください。授業では、CDとプリントを用いて問題練習に挑戦してもらいます。また、重要例文の発話練習を行います。また、それらの英文を利用して、ダイアログを作成したり、テキストの英文を参考にして、日本文化に関するプレゼンの練習をします。また、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。TOEFLの問題を用いた読解練習では、授業中に時間制限内に問題を解いてもらうとともに、家庭で精読してもらうことを課題として出します。		
授業内容/Class outline/Con	まず、e-learning 教材として、Power Words のレベル7を課します。定期的に小テストをします。 授業はテキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、テキストのダイアログを確認したり、プリントを用いて日本文化を語るための簡単な英文を作成したりします。 さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。 この授業に関しては、決して受身的な態度で参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): (注)グローバル時代の英語(NHK出版)の教科書は、現在品切れにて購入できません。購入の必要はありません。コピー等で代用します。代わりに、反転授業用のリーディング教材として、Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (英光社 ¥1900 CD付き)を教室にて販売してもらいますので、購入してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、プレゼンペーパー等の提出物20%、授業でのアクティビティ10%、Power Words の小テスト 20%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーク）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション グローバル英語Unit 1 日本文化を語る 1 Power Words Level 7 Unit 1-5 TOEFL Reading プリント 1 3 Step New York Lives,
第2回	グローバル英語 Unit 1 日本文化を語る 1 Power Words Level 7 Unit 6-10 TOEFL Reading プリント 2
第3回	グローバル英語 Unit 2 日本文化を語る 2 Power Words Level 7 テスト TOEFL Reading プリント 3
第4回	グローバル英語 Unit 2 日本文化を語る 2 Power Words Level 7 Unit 11-15 TOEFL Reading プリント 4
第5回	グローバル英語 Unit 2 日本文化を語る 3 Power Words Level 7 Unit 16-20 TOEFL Reading プリント 5
第6回	グローバル英語 Unit 3 日本文化を語る 3 Power Words Level 7 テスト TOEFL Reading プリント 6
第7回	グローバル英語 Unit 3 日本文化を語る 4 Power Words Level 7 Unit 21-25 TOEFL Reading プリント 7
第8回	グローバル英語 Unit 4 日本文化を語る 4 Power Words Level 7 Unit 26-30 TOEFL Reading プリント 8
第9回	グローバル英語 Unit 4 日本文化を語る5 Power Words Level 7テスト TOEFL Reading プリント 9

第10回	グローバル英語 Unit 5 日本文化を語る 5 Power Words Level 7 Unit 31-35 TOEFL Reading プリント 10
第11回	グローバル英語 Unit 5 プレゼン練習 1 Power Words Level 7 Unit 36-40
第12回	グローバル英語 Unit 6 プレゼン練習2 Power Words Level 7 テスト
第13回	グローバル英語 Unit 6 Power Words Level 7 Unit 41-50 プレゼン練習3
第14回	グローバル英語 Unit 6 Power Words Level 7 Unit 46-50 プレゼン発表会
第15回	プレゼン発表会 Power Words Level 7 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014004	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3K(英1)) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	3K(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 時間帯は講義にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Goal	言語は人間が頭の中でイメージする絵、つまり概念を表す「手段」であることを認識し、その概念をまず捉える。それから中学・高校基礎英語である5文型と主な品詞(名詞・動詞・形容詞・副詞)を意識して、文の構成を理解することで文章を組み立てることができる。ListeningやReadingにおいても、組み立てを意識することで、日本語訳への判断や理解のスピードがあがる。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。		
授業方法(学習指導法)/Method	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容/Class outline/Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。CNNをもとにしたTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanningや意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillを習得して行きます。またTOEIC問題にも取り組み、点数向上をはかります。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: Power Up Your English with CNN News 朝日出版 講義で配布されるプリント 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% TOEIC模擬試験 20% Final Examination 65% (学期末試験に関しては講義の中で解説いたします。)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断欠席回数が1/3以上でClass Attendance and Participationを0%と致します。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	英語力がつけば、それだけ世界の情報をリアルタイムでつかむことができます。学部での勉強、自分の研究にも非常に役に立つ力なので、軽視せず自分を高める重要な力のひとつと考えて取り組みましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction Unit 1 医療・食品 Antislipping Hormones Chocolate's Slimming Effects?		



第2回	Unit 2 医療 Early Birds Happier and Healthier New Role for Insulin? TOEIC問題
第3回	Unit 3 環境 Reef under Growing Threat Surprising Algae under Arctic Ice TOEIC問題
第4回	Unit 4 医療・食品 Cancerous Coloring? A Menu after One's Heart TOEIC問題
第5回	Unit 5 医療 Clues to Einstein's Genius Life Created from Skin Cells TOEIC問題
第6回	Unit 6 医療 Gene Linked to Longer Sleep Sleep Linked to Heart Health TOEIC問題
第7回	Unit 7 環境 Amazon Dam Gets Go-ahead Moving a Nation, Literally TOEIC問題
第8回	Unit 8 医療 New Test for Cancer Mind over Matter TOEIC問題
第9回	Unit 9 健康 15 Million Tonners Overweight Penalties for Not Exercising TOEIC問題
第10回	Unit 10 医療・食品 Pandemic of Inactivity Red Meat Tied to Early Death TOEIC問題
第11回	Unit 11 食品 Debugging at Starbucks New York Bans Large Sodas TOEIC問題
第12回	Unit 12 食品 Panda-enhanced Tea Tequila Museum in Mexico TOEIC問題
第13回	Unit 13 環境 Dangerous Smog in Beijing Record Smog in Beijing TOEIC問題t 13
第14回	Unit 14 医療 Concern about Quick-tempo TV The Fear of Being Phoneless TOEIC問題
第15回	Unit 15 環境・食品 Sharks under Threat Shark Fin Goes off the Menu TOEIC 模擬試験
第16回	Final Examination

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014005	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3K(英2)) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	3K(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の環境と文化に関する興味深い内容の英文を通して、環境に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語のスキルの応用力を身に付ける。また、専門の環境科学と関連付けて、考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	環境と文化に対して一層の関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は世界の環境問題を取り扱い、環境と文化を関連付けている点に特色がある。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / 環境・文化・世界		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Cultural Issue, Environmental Issue 『環境と文化から見るグローバル世界』 (Gregory Goodmacher / 梶浦麻子: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 80%、小テスト 10%、授業中の活動 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席することを期待します。必ず予習をして臨みましょう。テキストの問題もあらかじめ解いておきます。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月11日	導入・授業内容の説明
第2回 4月18日	Unit 1
第3回 4月25日	Unit 2
第4回 5月2日	Unit 3
第5回 5月9日	Unit 4
第6回 5月16日	Unit 5
第7回 5月23日	Unit 6
第8回 5月30日	Unit 7
第9回 6月6日	Unit 8
第10回 6月13日	Unit 9
第11回 6月20日	Unit 10
第12回 6月27日	Unit 11
第13回 7月4日	Unit 12
第14回 7月11日	Unit 13
第15回 7月25日	Unit 14 ( Unit 15 )
第16回 8月1日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014006	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3K(英3)) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	3K(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、健康と環境に焦点を当てたニュース素材を用いて、リーディング力、リスニング力の強化を図ります。また、ディスカッションを通し、自分の意見を述べる訓練も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。TRUE OR FALSE?、 VOCABULARY BUILDINGを通して、本文の理解度を確認し、応用問題を通して、リーディングで出てきた表現方法の活用定着を図ります。		
授業内容/Class outline/Con	まずはテキストの内容を正確に理解するため、鍵となるVOCABULARYの確認を行います。つづいて、TRUE OR FALSE?を通し、トピックの正確な理解ができているか確認します。テキストの内容を踏まえ、自分の考えを伝える練習を行います。		
キーワード/Key word	Health, Environment		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Living for Tomorrow: Health & Environment Topics from VOA 松柏社 1,800円 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	13回の小テスト40%、発表を含む定期試験60%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日頃からニュース等を見て、世界で何が話題になっているのか注意を払うと英文理解の助けになります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売・ Introduction Chapter 1 リスニング		
第2回	Chapter 1 A Pain in the Neck? 読解 Chapter 2 リスニング		
第3回	Chapter 1 小テスト Chapter 2 Why is that Farm Floating? 読解 Chapter 3 リスニング		
第4回	Chapter 2 小テスト Chapter 3 Did Your Forget to Eat Some Chocolate? 読解 Chapter 4 リスニング		
第5回	Chapter 3 小テスト Chapter 4 Where are All the Birds? 読解 Chapter 5 リスニング		
第6回	Chapter 4 小テスト Chapter 5 Print My Heart Out, Would You? 読解 Chapter 6 リスニング		

第7回	Chapter 5 小テスト Chapter 6 Fishing for an Image 読解 Chapter 7 リスニング
第8回	Chapter 6小テスト Chapter 7 Healing by Magic 読解 Chapter 8 リスニング
第9回	Chapter 7 小テスト Chapter 8 A Doctor for the Planet 読解 Chapter 9 リスニング
第10回	Chapter 8小テスト Chapter 9 Forgetting Alzheimer's 読解 Chapter 10 リスニング
第11回	Chapter 9 小テスト Chapter 10 Are You Anti-antibiotics? 読解 Chapter 11 リスニング
第12回	Chapter 10 小テスト Chapter 11 No Flying, No Jet Lag? 読解 Chapter 12 リスニング
第13回	Chapter 11 小テスト Chapter 12 May the Force be with the Hippos 読解 Chapter 13 リスニング
第14回	Chapter 12 小テスト Chapter 13 Robots and Drugs 読解 Chapter 14 リスニング
第15回	Chapter 13 小テスト Chapter 14 It's Too Light Here! 読解
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014007	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3D1・3D2) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	DATZMAN BRIEN ROBERT / DATZMAN BRIEN ROBERT		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	DATZMAN BRIEN ROBERT / DATZMAN BRIEN ROBERT		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	DATZMAN BRIEN ROBERT / DATZMAN BRIEN ROBERT		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	brien-datzman@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部3号館		
担当教員TEL/Tel	2943		
担当教員オフィスアワー/Office hours	To be decided		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	This class is designed to improve basic communication skills and to further develop students` confidence when speaking English. Each class provides students with the opportunity to learn and use new words and phrases when talking about themselves and the world around them.		
授業到達目標/Goal	By the end of the course, students should feel comfortable and confident talking about their everyday life and past experiences in English.		
授業方法(学習指導法)/Method	Each unit in the textbook has a very clear target—for each student to create a scrapbook showing family, friends, interests, hometown, and many other important topics.The class will be taught using listening exercises, discussions, pair-work, and group-presentations.		
授業内容/Class outline/Con	授業内容-1回 Course introduction, self-introduction, and textbook overview. 授業内容-2回 Unit 1: Hometown 授業内容-3回 Unit 1: Hometown 授業内容-4回 Unit 2: Music 授業内容-5回 Unit 2: Music 授業内容-6回 Unit 3: Books 授業内容-7回 Unit 3: Books 授業内容-8回 Mid-term group presentation 授業内容-9回 Unit 4: Family 授業内容-10回 Unit 4: Family 授業内容-11回 Unit 5: Travel 授業内容-12回 Unit 5: Travel 授業内容-13回 Unit 6: School and Friends 授業内容-14回 Unit 6: School and Friends 授業内容-15回 Unit 7: Food 授業内容-16回 Final group presentation		
キーワード/Key word	discussion, conversation, everyday English, communication		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Scraps Written by: Brian Cullen and Sarah Mulvey		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Attendance and Partipation: 40%, Quizzes 20% Finished Scrap Book : 20%, Final: 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students

Consistent attendance and participation are necessary for students to have success in this class. Students will also be expected to prepare and bring in materials from home.

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014008	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3P1) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student	3P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜3限(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 課題について英語で論述する力を養う。 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)/Method	指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業で課す課題 30% 授業における発表と小テスト 20% 期末テスト 50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文速読教材(1)		
第3回	英文速読教材(2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	英文要約教材(1)		
第6回	英文要約教材(2)		
第7回	Listening Comprehension Quiz (第2回)		
第8回	英語要約課題(3)		
第9回	英語要約課題(4)		
第10回	Listening Comprehension Quiz (第3回)		



第11回	英文交渉メールの基礎と練習
第12回	英語課題作文練習（1）
第13回	英語課題作文練習（2）
第14回	英語プレゼンテーションの基礎
第15回	英語プレゼンテーション
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590014009	科目番号 / Subject code	05900140
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 21463_032		
授業科目名 / Subject	Advanced English (3P2) / Advanced English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Object Student	3P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	B棟1F		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 4 限目		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英文を読んで自分の意見を論理的に述べることができるライティングの基礎から応用力を養う。将来の学会発表等を想定した実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標 / Goal	論理的に自分の意見を述べられるようになる。 ライティングの書き方の基礎から応用力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	グループワークを通して、学生が自ら考え、学ぶことを目的とし、論理的に自分の意見を伝えられる活動を取り入れる。 また、論理的な文を書けるように添削指導を行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	essay writing、論理的構成		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	ビデオ教材、参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業中に行う小テスト (主にWriting) (30%) 課題の提出及び授業中の取組 (30%) 期末試験 (40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	このクラスは、添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	【オリエンテーション】 学習方法の説明 Writing		
第2回	意見を述べる(1) プリント教材を使用し、英語で自分の意見を述べる英単語やフレーズを学ぶ。		
第3回	意見を述べる(2) プリント教材を使用し、英語で自分の意見を論理的に述べる方法 (書き方) を考える。		
第4回	意見を述べる(3) プリント教材を使用し、英語で自分の意見を論理的に述べる方法 (書き方) を学ぶ。		
第5回	意見を述べる(4) これまでのプリント教材を振り返り、グループとしての意見を論理的にまとめ、発表する。		
第6回	Academic Writing(1) 全体の構成について学ぶ		
第7回	Academic Writing(2) Introductionの構成について学ぶ		

第8回	Academic Writing(3) Introductionの構成について学ぶ
第9回	Academic Writing(4) Bodyの構成について学ぶ
第10回	Academic Writing(5) Bodyの構成について学ぶ
第11回	Academic Writing(6) Conclusionの構成について学ぶ
第12回	Academic Writing(7) Conclusionの構成について学ぶ
第13回	Academic Writing(8) これまでのまとめ
第14回	Academic Writing(9) これまでのまとめ
第15回	総復習と振り返り
第16回	期末試験